

八代ぶらりまち歩き

Vol. 1

八代に住んでいる人なら誰でも知っている場所からあまり知られていない場所まで八代のいろいろな場所を紹介していきます。

八代市を歩いているときさまざまなかつての伝説を耳にするでしょう。本町二丁目にある河童渡来の碑や大きなかっぱ像もそうした伝承と深く関わっています。第1回の今回は河童渡来の碑を紹介します。

河童渡来の碑

昭和29年に中島町内会によってつくられた河童渡来の碑。碑に使われている2つの石はもともとガラッパ石と呼ばれ、徳洲の津の橋板に使われていました。徳洲の津とくっばにはどのような物語があるのでしょうか。

中国からやってきたかっぱたち

碑には、およそ1600年前に大陸(中国)からかっぱが一族郎党を引き連れ海を



▲大きな河童伝来の碑



▲河童伝来の碑の近くにはかっぱの像があります

渡り、最初に住み着いたのが徳洲の津です。かっぱの数は9000匹にまで増え、族長を九千坊と呼ぶようになり、やがてかっぱたちはいたずらを繰り返すようになりました。人々の怒りを買って捕まったかっぱは、橋板の2つの石がすり減ってしまうまで悪さをしないことを約束。その代わり年に1回祭りをしてほしいとお願いしたそうです。住民はこの願いを了承し、当日の旧暦5月18日に祭りを行ってききました」と記してあります。

大陸からやってきたかっぱは、海に開けた都市・八代ならではの物語です。ぜひ、散策してみてください。



2019 女子ハンドボール世界選手権大会

200日前カウントダウンイベント開催

2019女子ハンドボール世界選手権大会が5月14日で開幕まで残り200日となったのを機に、「200日前カウントダウンイベント」が、18日ゆめタウン八代で開催されました。

同大会をPRするラッピングバスが初披露され、関係者によるテープカットの後、市内運行に出発。同バスは、12月15日までの同大会期間中、市内を運行します。その他、八代第一中学校吹奏楽部の演奏や特別ゲストのくまモンも加わったくまモン体操もあり、大勢の来場者に同大会をPRしました。また、ゆめタウン八代とイオン八代ショッピングセンター内に、同大会PRブースが設けられ、本番までの日数を表示する「カウントダウンボード」やPR動画放映モニターが設置されました。



▶来場者と一緒にバスを宣伝するくまモン



▶応援メッセージでエールを送る来場者



▶みなバス・まちバスの各1台ずつが12月15日まで運行します

今月の紙

約400年前に加藤清正公により築造されたとされている旧遙拝堰(その形状から「八字堰」とも呼ばれていた)の形状を再現し、当時の八字堰にちなんで「八の字堰(はちのじぜき)」と名付けられました。(国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所提供)